



初日の出 海と山に抱かれて

英語のことは「ネスル」に魅せられて

当ジオパーク推進協議会では外国人向けの説明文は最終段階で必ず、八峰町外国語指導助手のウイリアムズ・カート・マイヤー氏のチェックを受けて完成しています。ある時「海と、隆起する白神山地のはざまにて」を英訳していただいたところ、英文中に「ネスル」という言葉が入っていました。カート氏にこの言葉はどんな様子を表しているのかとお聞きしたところ、カート氏はウームと言いながら次のように説明してくださいました。

小鳥の親が巣の中で羽根の下にひよこたちを抱えています。ひよこたちは頭だけを出して気持ちよさそうに辺りを見回している様子を表しています。つまり、八峰町の住民は海の幸、山の幸そして平地からは穀物や野菜物をとって、心やすらかに生活しているともとれる言葉でありましょう。用語「ネスル」にはこの様子を表現しつくされていると思えました。表題に「抱かれて」と表現しましたが、それでは言い尽くせない内容がネスルには含まれていると感じました。

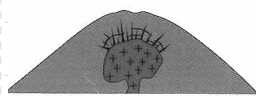
7つのエリアから成る八峰白神ジオパーク

八峰町は世界自然遺産白神山地を中心とした大地から成り立っています。この大地は今から9千万年前から現在まで延々と続いてきた大地の変化によ

って生まれたものです。これらを7つのテーマを設けてガイドコースを組み立ててあります。

1. ゴマ石の古里コース

当ジオパークで最も古い岩石（ゴマ石）が見られます。漬物石などにも使われており、生活に密着しています。9千万歳と推定されています。

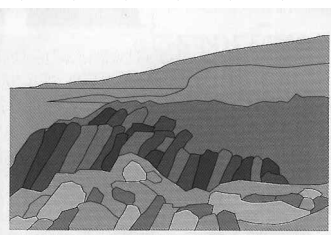


2. 白神山地を見守るスフィンクスコース

ハタハタ館の海岸にみられる自然造形のスフィンクス。海底火山が活発であった頃、溶岩や火山灰が積もってできました。1千万年ほど前の話です。

3. 恵みをもたらした火山活動コース

いったん収まった火山活動が再度活発になりました。溶岩のかげらと火山灰が入り混じった、がさついた層ができました。



八森油田はこの地層に溜まった石油をくみ上げました。数百万年前に起こった火山からの贈り物です。

4. 美しい風景の立役者 段丘地形コース

海岸や河岸には階段状の地形が広がっ

ています。大地が隆起したり海面が低下したりして出来た地形です。数十万年〜1百万年前ころにできました。

5. 砂あらしに苦労した先人たちコース

ポンポコ山などの海岸沿いにできた小山は「砂丘」と呼ばれています。海岸にあつた砂が風に飛ばされてできました。縄文時代より現在にできました。

6. 文化をもたらした鉱産資源コース

発盛鉱業所や八森油田などの大規模な鉱山のほかに、小規模な金山、銀山、銅鉱山、鉛鉱山も稼働していました。特に小入川地域の操業の歴史は古く、今から700年前ころと言われています。

7. 地すべり地帯とブナ天然林コース

世界自然遺産となっている白神山地は、いたるところで地すべりが発生し、深い谷が数多くできています。そのため人々は簡単に白神山地には入山できませんでした。その結果、このような場所には人手の加わらない天然のブナ林ができました。身近な場所、「留山」でも見ることが出来ます。

八峰白神ジオパーク推進協議会

研究専門員 工藤 英美

〒01822632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四十一

ぶなつこランド内

TEL 0185-77-3086